

国語シリーズ 8

文
部
省
編

現代かなづかいの意義

統 計 出 版

刊 行 の 趣 旨

国語シリーズは、国語の改善と国語教育の振興に関する施策を普及徹底するために編集するものであります。

このシリーズは、国語問題編・国語教育編・国語生活編および国語教養編として、それぞれ逐次刊行する予定であります。

問題編は、主として国語審議会の発表した事がらを、教育編は、国語指導の方法などを、生活編は、国民の言語生活に関する事を解説するものであり、教養編は、一般の国語教養を高めることを目的とするものであります。

なお、この本は国語問題編の1巻として国学院大学教授文学博士金田一京助氏に執筆を委嘱したものであります。

昭和 27 年 3 月

文部省調査普及局国語課長 原 敏 夫

目 次

緒 論—国語史序説	1
上代国語の音韻と真名	5
古代国語の音韻とかな	9
中世国語と実行かなづかひの創始	4
近代国語と古典かなづかひの發見	19
現代国語とかなづかひ問題の興起	30
現代かなづかひ案の公布	35
現代かなづかひの精神	39
現代かなづかひの要約	54
結 論—古典時代の精神の伝統	58